

市立函館病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします

研究課題名： 泌尿器科癌に対する治療介入と効果についての多施設共同後ろ向き臨床研究

研究の目的

医学の進歩により、新しい薬剤、治療法が開発されますが、臨床試験で全ての疑問が解決されるわけではありません。本研究では、泌尿器科癌に対する治療を受けた患者さんを対象に過去の臨床データをもとに、泌尿器科癌の治療効果と効果を後ろ向きに検討し、現状把握と今後の治療指針を検討することを目的とします。

研究実施期間： 実施許可日 ～ 2031 年 3 月 31 日

対象となる方： 2005 年 1 月 1 日から 2030 年 12 月 31 日までに市立函館病院、弘前大学医学部附属病院とその関連施設、秋田大学医学部附属病院、上尾中央総合病院で泌尿器科癌に対し治療を行なった患者です。疾患名は、前立腺癌、尿路上皮癌、腎癌、その他の悪性腫瘍です。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、既往歴、治療情報、採血結果、病理結果、再発などの予後情報について、標記研究課題実施のために利用します。疾患毎に、治療法とその効果、予後について、統計解析的手法を用いて比較することで、現状把握と今後の治療指針を検討する上での重要な資料にしたいと思います。なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。また本文書により情報公開をし、拒否機会を保障します。通常の診療・治療に必要な検査、測定された採血結果を用いて研究を行いますので、患者さんに新たな侵襲や負担が発生することはありません。研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。個別の結果については原則としてお答えできませんが、希望される方は下記までご連絡ください。提供先機関：弘前大学医学部附属病院（畠山真吾）、秋田大学医学部附属病院（成田伸太郎）、上尾中央総合病院（佐藤 聡）、旭川医科大学附属病院（沼倉一幸）

研究代表者： 弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座 教授 畠山 真吾

研究機関名： 市立函館病院

研究責任者： 泌尿器科・西村 祥二

研究機関の長： 市立函館病院 病院長・森下 清文

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	市立函館病院 泌尿器科科長 西村 祥二 （月～金：9：00-17：00） 電話 0138-43-2000（代表）
--------------	---